

阿蘇の草原を次世代へつなぐ野焼き支援ボランティアを実施

～JALグループは担い手不足が深刻化する野焼きをサポートします～



JALは、2026年2月13日と14日の二日間、グループ社員による阿蘇市野焼き支援ボランティアを、昨年に引き続き実施します。これまでJALは「阿蘇草原応援企業サポーター」として、阿蘇の草原減少という社会課題の解決に向けて継続して取り組んできました。阿蘇の広大な草原は、多様な動植物の貴重な生息地であるだけでなく、水を蓄え、土砂災害を防ぐなど、人々の暮らしにとっても重要な役割を担っています。千年以上にわたり、地元の皆さまの手によって守り継がれてきた世界に誇るべき宝ですが、近年は担い手不足によりその維持が極めて困難な状況にあります。

今回の取り組みを通じて、豊かな生物多様性の保全に貢献するとともに、一過性のサポートに留まらない「持続可能な地域づくり」を、阿蘇市の皆さまと歩みを揃えて推進してまいります。

今後もJALは、2022年に阿蘇市と締結した連携協定^(※1)に基づき、関係人口の創出・拡大を目指して持続可能な地域づくりと環境保全に取り組んでまいります。

(※1)【熊本】(共同リリース)「阿蘇市とJAL」が連携協定を締結

<https://press.jal.co.jp/ja/areanews/release/202303/007309.html>

【概要】

- 実施日時:2026年2月13日(金)～14日(土)1泊2日
- 参加者:JALグループ社員 31名
- 内容 1日目:阿蘇の草原の課題や役割について研修を受講
2日目:阿蘇市舞谷(もうたに)牧野において野焼き支援ボランティアを実施
※参加者から有志を募り、1人500円を「九州の水を育む阿蘇の守り手募金」へ寄付します。
- 場所 1日目:阿蘇草原保全活動センター(熊本県阿蘇市小里656-1)
2日目:舞谷牧野(熊本県阿蘇市 一の宮町中通北山2796-1)
- 協力 阿蘇市、公益財団法人阿蘇グリーンストック、株式会社伊藤園